



←参加前に当会ホームページ新着情報をご確認ください
開催予定・時刻が変更になる場合があります



[2023.01.05.現在]

開催予定

1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					7	8		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5	
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			



事業名	開催時間	開催場所	駐車場
○ 第1(土)(日)を中心に開催 越谷プレーパーク 越谷市プレーパーク事業	11時～16時	越谷総合公園(増林3-1) ※グリーンマルシェ裏側トイレそば ※総合公園でのイベントと重なると駐車場が混雑します。 バスのご利用もご検討ください。 ※2月23日(祝)も開催します!	あり※
♡ 第3(火)は乳幼児親子の遊び場 ちびころ 自主事業	10時～12時	千間台第四公園(広場側) (千間台西4-2) コスモス裏 ※イオン、セキチュー、ドラッグストアコスモスそば ※近隣有料駐車場をご利用ください	なし
□ おちかくプレーパーク 自主事業	10時～12時	おちかくプレーパーク開催場所は、 ホームページ新着情報をご確認ください。	
東越谷プレーパーク 越谷市放課後子ども教室	13時～16時	東越谷第七公園(花田1-4)	なし

地域の皆さん ありがとうございます

(株)山下工務店さま 榎組さま 野口組さま 坂本さま イオンスタイルせんげん台さま
カスミフードスクエア越谷大袋店さま MEATMeet 大袋店さま タイヤガーデン越谷店さま
ドラッグストアセキ花田店さま 木材などを提供頂いております。

自分の責任で自由に遊ぶ

普通の公園が禁止事項ばかりなのは、何かあったときに「公園をつくった人が悪い」と管理者の責任を追究する傾向があるからです。子どもが公園で自由に遊ぶには、「事故は自分の責任」という考え方が基本です。そうしないと禁止事項ばかりが増えてしまい、結果、子どもが自由にチャレンジする機会を奪うことになってしまいます。子どもが思いっきり遊べる場所をみんなの力で作りましょう!

プレーパークって?

「〇〇してはいけません」という禁止事項のない遊び場。何をしてもいい、なにもなくてもいい。穴掘り、木登り、泥んこ遊びや火を使った遊びなど、子どもたちが「やりたい!」と思ったことを自由にできるように、大人たちが知恵を出し合って運営しています。

会員になってプレーパークを応援しませんか

全国各地で400を超える団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。越谷にプレーパークをつくる会は、有志の市民が中心となってボランティアで運営しています。会費は活動の大切な資金となっています。越谷市が「遊びあふれるまち」になるよう一緒に願ってくれる方を募集しています。

- 正会員 2000円/年 (活動趣旨に賛同し積極的に応援)
- 賛助会員 1000円/口 何口でも! (財政的にサポート)

会費・寄付金は郵便振替でもお受けしております。
00540-2-78897 NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

ホームページ



ブログ



NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

メール koshigaya.asobo@gmail.com

LINE



Facebook



プレーパーク 越谷

遊びあふれるまちへ



越谷にプレーパーク

をつくる会 通信

66号
1月発行
2023



Let's 外遊び③

冬も外遊び をおすすめします!

冬は寒いのでなるべく外では遊ばせたくないという方もいるかと思いますが、冬の屋外は熱中症の心配も、虫刺されの心配もありません。散歩に出かけてみると家の影に霜柱を見つけて踏みしめてみたり、水たまりや川やドブの縁が凍っているのを発見したりします。散歩だけでも遊びとなります。親子での鬼ごっこも冬は体が温まり楽しい遊びです。



私は保育士として日々園児に関わっています。2歳までの園児が五感を発達させていくには、教えるのではなく、遊びながらたくさんの体験をさせていくことが大切です。特別にどこかに連れて行くだけが体験というわけではなく、近くの公園で砂や草や木を触るだけでも遊びで、繰り返し遊んでいくと子どもの中で積み重ねができてきて、好奇心が育ったり探求心につながっていきます。こんな風に感じている保育士が多いのですが、保育の現場では時間がなかったり、安全が優



先になったり、そもそも外遊びに十分な園庭がなかったりして、乳幼児に大切な外遊びを体験させられない現状があります。だから親子での外遊びに期待したくなります。

冬でも開催しているプレーパークでは、鬼ごっこも親子だけでなくたくさんの人とできて楽しくなります。火器の使用が許されているので、火おこしを体験してたき火を囲み、おしゃべりをしたり、時には歌(「たき火」の歌知っていますか?)を歌ったりしてほっこり過ごすことができます。もっと冬の楽しさを発見するために、暖かい服装で温かい飲み物を持参して、プレーパークに遊びにきませんか。(川)





卒業 メッセージ

プレーリーダー みたける



越谷で8年間プレーリーダーとして活躍した、みたける。12月のプレーパークを最後に、越谷での活動は卒業です。みたけるからみなさんへのメッセージです。

●子どもとの距離感に戸惑った1年目

僕は小2の頃から、草加にある松原冒険遊び場で遊んでいました。プレーリーダーのことも間近で見て、『こんなおっちゃんになれたらいいな』と思ったのです。17歳の時でした。それから松原に遊びに来ていた方が、いろんなプレーパークに連れて行ってきて、越谷にも遊びに行くようになりました。

19歳の時、有難いことに越谷でプレーリーダーになることができました。1年目はさんざん。ぼくと目を合わせるだけで、小さな子どもたちが泣き出すのです。幼児やお母さん方との関わりが僕にとって、こんなにハードルが高いとは。もうわからん、と心で泣いていました。ある時、こんなことがありました。いつも僕をみて泣き出すRちゃん。お母さんとおしゃべりしていると、Rちゃんが心ゆるしてくれる感じがしたのです。そして笑顔を向けてくれるようになりました。子どもを安心させるためには、自分が何者か、それを関わっている大人に伝えなきゃ子どもとの距離感とうまらしないし、うめられないのだと実感した出来事でした。

●忘れられないジャンボハンモックの光景

今、遊び場に出しているジャンボハンモックは、プレーリーダーとっきーと一緒に講師として準備し参加者と一緒に作ったものです。真夏の暑い日もハンモックの進み具合を気かけ、編みにきてくれた方もいました。その方は子どもにも丁寧に教えてくれて。あの光景は忘れられません。あの時のみなさんがいなければ今のジャンボハンモックはありません。今、こうして遊び場で活躍する遊具を残せたことが嬉しいです。

●やっと、自分で自分を認めることができて

越谷以外にも、計5か所のプレーパークでリーダーをさせてもらい、いろんな遊び場やいろんなプレーリーダーを見ました。1、2年目は僕のプレイワークはこれで大丈夫なのか？と思う日々でした。僕は走り回って子どもと遊ぶのが得意です。けれど、この関わり方でいいのか自信が持てませんでした。仲間でもある他のプレーリーダーたちは僕が得意とする、走り回って子どもと遊ぶプレイワークを「みたけるは、それがいいよね」と気づかせてくれました。自分で自分のプレイワークを認めることができて、さらにスキルを上げていきたい気持ちになりました。今僕は、子どもたちの内面的なものをちゃんと受け取ることでできるプレーリーダーでありたいと思っています。それは、毎日子どもと関わり続けることで受け取ることができるものです。だから、常設のプレーパークで働くことを決めました。プレーリーダーとしてさらにスキルを積み上げていきます。

●かけがえのないものを胸に

12月の越谷プレーパークで、8年関わりのある高校生から手紙をもらいました。読みながらプレーリーダーをやっていてよかったと心から思いました。この8年間のかけがえのないものをもらって、本当にありがたくて。こんな場所をこれからも作っていかれたらなと思っています。

プレーパークはあなたの居場所になりえる場所。いつでもきていいんだよ。とみんなに伝えたいです。そして、また遊びに行くから会おうぜ！遊ぼうぜ！ぼくは**えびすどろんこ山プレーパーク**にいますから。8年間あの場で働かせてもらい、子どもたちに関わることができて幸せです。本当にありがとうございました。

(2022年12月みたけるインタビュー 文：かなもん)

日本縦断！ 移動式 あそび場リレー 2022-23



北海道から沖縄まで全国各地の移動式遊び場をプレイキットのバトンでリレーしながら遊び場を開催する企画に、私たちも参加表明！主催はかーびーこと星野愉さんが代表を務める移動式あそび場全国ネットワーク。北海道から東北、関東と旅をしてきたプレイキットは、ゆっくり2か月かけて越谷にもやってきました。場所はレイクタウン大芝生広場。

プレイキットには、コリント（自由に組み替えられるパチンコ台）や木製積み木、大きな透明シート、マグネットなどなど。みんなで「どうやって遊ぶ？これはこうしたらどう？」とあれこれ言いながら、遊びに来てくれた子たちと一緒にワクワクした時間を過ご



コリントで遊ぶ参加者

しました。気づけば、透明シートを屋根にした探検コースができあがり、プレイキットボックスカーに乗り込んだ子どもたちがガタゴト電車ごっこを始め、その横ではコリントで何度も何度もボールを転がして楽しむ子どもたち。プレイカーができたなら、こんな風に遊びが広がるおもちゃを積んで遊びに行きたいなと夢が広がる1日でした。（とまと）

東越谷プレーパーク

東越谷プレーパークには、数ヶ月にわたって、文教大学の一年生が授業の一環でボランティアに来てくれました。学生さんは初めての現場。緊張していましたが、子ども達が集まり始めると自然とおしゃべりをし、鬼ごっこやブランコで遊びだします。

子ども達は、初めて会ったお兄さんお姉さんでも名前がわからなくても、関係ないのです。プレーパークの感想を学生さんに聞くとみんな「楽しかった！」と言っていました。

今後も東越谷プレーパークでは学生ボランティアを募集しています。月一回なので長期でできる方歓迎です。興味のある方は、ぜひご連絡ください！

(クリボー)



みんなで綱引き

～越谷市放課後子ども教室

プレーパーク教室 ボランティア募集～

■活動日時：毎月第3土曜、12時30分～16時30分

■活動場所：東越谷第7公園（越谷市花田1-4）

応募要件等、詳細はこちらから

ご確認下さい。

連絡先:koshigaya.asobo@gmail.com

(担当 川村、栗田)



プレーリーダーって？

子どもとことん遊び、ありのままを受け入れ、遊び全体に目を配ります。遊びの種を蒔き、遊びを通して子どもたちの相談相手にもなってくれる、親でも先生でもない子どもと対等な大人です。遊びに伴う危険を予測して対応し、遊び場の整備なども行います。